

産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 須崎市地域農業再生協議会
都道府県 高知県
対象地域 須崎市
対象品目 ミウガ(養液栽培)



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

高知県の中西部に位置する須崎市は、県内のミウガ栽培面積105haのうち74haが栽培されている主要産地であり、99%が養液栽培となっている。このうち、57%はかけ流し方式であり、ミウガに利用されなかった排液は施設外で地下浸透処理されるなど、肥料成分のロスが課題となっている。一方、排液を殺菌して再利用する循環方式が43%で導入されているが、既存の養液栽培用肥料（従来肥料）では、栽培中期より培養液のpH低下や成分バランス変動により、循環方式を中止する事例があるなどの課題が残されていた。

高知県農業技術センターでは、ミウガ養液栽培による肥料成分の吸収特性の解明により、循環方式に適した培養液処方を開発し、かけ流し方式に比べて3～5割程度の肥料削減効果があることを明らかにした。この試験結果をもとに、令和4年に、協力肥料メーカー3社が従来肥料より低価格となるミウガ専用肥料を作成した。

令和4年度には、かけ流し(1圃場)、循環(2圃場)の両方式において新肥料を使った栽培検証を実施し、生育、収量とも問題ない結果が得られた。しかし、ミウガの生育や収量は、年度や生産農家によって異なるため、地域における栽培検証を実施し、循環方式による肥料の削減技術を産地に広く普及させることを目指す。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
主な作業名								定植						
	施肥								施肥					
	収穫													
技術名														
	従来の肥料かけ流し方式栽培									従来の肥料かけ流し方式栽培				



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考			
主な作業名								定植								
	施肥								施肥							
	収穫															
技術名																
	専用肥料による循環型養液栽培													専用肥料による循環型養液栽培		

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	74ha	▶ 74ha	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.55ha	▶ 16ha	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.55ha	▶ 16ha	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.55ha	▶ 16ha	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境省力	従来肥料を用いたかけ流し方式または循環方式による養液栽培	ミウガ専用肥料による循環型養液栽培	化学肥料使用量の低減 肥料タンクへの濃厚原液作成回数の低減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学肥料の低減（かけ流し方式）	10割	▶ 7割	
環境	化学肥料の低減（循環方式）	10割	▶ 9割	
省力	濃厚原液作成回数（かけ流し方式）	14回（14時間）	▶ 10回（10時間）	28%低減
省力	濃厚原液作成回数（循環方式）	11回（11時間）	▶ 10回（10時間）	9%低減

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

ミウガ生産者に対して、勉強会、現地検討会または営農指導員の巡回指導を通じて栽培マニュアルの紹介を行うとともに、グリーンな栽培体系の普及促進を図る。

関係者の役割

関係者名	須崎市地域農業再生協議会	高知県須崎農業振興センター	高知県農業技術センター	JA土佐くろしお営農部
役割	事業実施手続き 事業のコーディネーター	技術指導 データ収集、解析	技術サポート、助言 データ解析補助	事業実施手続き 農業者との調整 事業のコーディネート